



# 株式会社エストウース

業種 宿泊・飲食サービス業  
事業所所在地 宮城県仙台市

## 経営革新等に係る取組の標題

### 店舗再生とパンと喫茶を活かしたコミュニティ・食交流サービス事業の開拓

被承継者		承継者	
 有限会社ケーキハウスフリーズ		 株式会社エストウース	
事業承継時年齢	79歳	事業承継時年齢	37歳
業種	宿泊・飲食サービス業	業種	不動産、物品賃貸業
事業所所在地	宮城県仙台市	事業所所在地	東京都渋谷区
資本金	5,000千円	資本金	10,000千円
従業員数	27名	従業員数	35名

**経営革新等に係る取組の内容**

- 仙台市泉区鶴が丘地域で長年親しまれてきた店舗イメージを受け継ぎ、地元町内から要望のあった「幅広い世代の住民同士が気軽に立ち寄り共に交流できる場を創って欲しい」との声に対応した「地域貢献型店舗」として、これまでのパン販売に加え新たに喫茶・食事のサービス部門を設けた複合型のオリジナルな店舗経営に取組んでいく。
- 独りで家に居るよりも皆で集まって楽しく食べる機会を少しでも増やしたいという思いから、パンを買って持ち帰るスタイルだけでなく、パンを調理してコーヒー、紅茶やサラダ、スープと共に味わうカフェ・スタイルに注力する。飲食を通じて店内の席で隣り合うお客様同士が談笑できる「コミュニティ・カフェ」を目標にチャレンジしていく。そのため、本補助金を活用して、旧店舗の解体処分工事を行い、その後、地域からの要望も踏まえながら食事サロンも可能な新たな店舗プランをまとめ、店舗環境を演出する設備工事を行った。
- 店内には地域包括支援センターの相談窓口も設け、ご高齢者をはじめとする日常生活でのお困り事にも店内で身近に対応できるコミュニティケーション・サービスも行っていく。

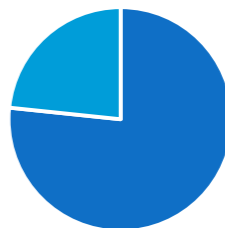
事業承継前の主たる事業内容	事業承継前の主たる事業内容
1977年に仙台で創業し、杜の都にこだわる洋菓子店舗を複数構え、街のケーキ屋・パン屋さんとして長年親しまれながら、手作り職人の技によるオリジナルな味や素材を吟味したケーキやパンの製造販売を営む。	2009年に若手経営者が集まって創業し、首都圏を中心に住宅・マンション・アパート等の土地・建物の不動産取引や賃貸住宅・賃貸マンション・賃貸アパート等の仲介をはじめとする不動産サービス業を営む。
被承継者と承継者の関係	その他の親族外



### 事業承継の経緯

事業承継の検討を開始した時期：2019年2月

被承継者	承継者
経営者の高齢化、家族労働の負担増、従業員の確保の問題から2016年に閉店した鶴が丘店について将来展望が見通せなかった。	創業以来、順調な業績を上げているが、今後の東京オリンピック後の不動産状況を展望するとこのまま推移できるか見通せない。
①ケーキ・パン販売にこだわらず手取り早く不動産処分する方法。 ②地域に親しまれてきた店舗事業に対する思いを誰かに託したい。	①不動産分野の中で新たな事業開拓・顧客開拓に向けた検討。 ②食産業への興味もあり、新事業分野への挑戦的な試みを行う。
鶴が丘店の地元地域から店舗再開を望む声が強くなり、引継ぎ店舗を探していたところ地元町内会から候補となる事業所紹介があった。	創業者の実家が鶴が丘にあり、子供時代から知っていた店舗でもあることから町内会からの声掛けに応じて検討を行う機会があった。
鶴が丘店は既に休業し未活用状態であったため、事業資産活用の財務的観点から何らかの対策がむしろ必要であった。	新事業開始に向けたかなりの投資資金が必要だが、今回の事業承継補助金により財務面での負担が軽減された。
特になし。	特になし。
特になし。	特になし。
事業承継自体が初めての経験であったが、税理士や知人の助言で手続きも順調に行えた。	事業承継自体が初めての経験であったが、ノウハウを持つ知人の協力で手続きも順調に行えた。

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
今回の事業承継により休業していたパン屋さんが復活し、地域内でコンビニ以外にパンを購入する場が無かった生活環境を改善し地域経済の向上に僅かながらも貢献できた。今後は食品の仕入れなど地域との関わりを充実させバリューチェーン形成にも繋げたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備費</li> <li>■ 解体費</li> </ul> 
	<b>経費の主な使い道</b> 設備費（店舗内装工事費、設備工事費等） 廃業費（旧店舗設備の解体工事、処分費等）

### 認定経営革新等支援機関の名称：税理士法人リライト

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

店舗再生と事業承継との関係性の説明、経営革新の具体的な取組み方への助言。

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	多くの方がこの店舗を日常交流の場として積極的にご利用いただくために、食事サロンや厨房などのイベント的なレンタル利用やサークル活動・趣味の会などの情報発信の拠点となる活発な場づくりを目指していく。
売上高	50 %UP

### 事業承継を行った時期：2019年8月

事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？	
	被承継者	承継者
事業譲渡	食品分野に未経験な承継者だが、地元から要望もあり次の世代に将来を託そうと決意した。	被承継者から事業承継の無償譲渡という英断もあり、初期投資が減じられる見込みが立った。

### これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
自分達だけで考えても上手く行かないことが、事業承継というパートナーを見つけ出すことで新たな道も開かれ解決に向けた原動力になった。是非、このような手法にも目を向け、幅広く取組んで行って欲しい。	不動産活用に専念している我々にも、事業承継という手法で新たな取組みが展開できる可能性を直に経験することができた。補助制度も補助金事務局のしっかりとしたサポート環境があるので、是非、これらを活用しながら挑戦して行って欲しい。